

薬局・ドラッグストアでの「やさしい日本語」への言い換えの対比表

動画 ⑦実践編(その3) そのくすりは ^{しょほう}「処方せん」が ^{ひつよう}必要です

通常の日本語

「やさしい日本語」言い換え例

<p>申しわけありませんが、その薬は、日本では処方せんがないと、販売できません。 まず、病院で医師の診察をお受けください。 その時、ご自分の国では、その薬を使用していたことをご説明いただき、 処方せんを書いてもらってください。</p>	<p>すみません。今は、そのくすりを、売ることができません。 ^{にほん}日本では、そのくすりは、^{いし}医師<ドクター>が ^{つか}使ってもいいか どうか きめます。 ^{にほん}これが、日本の ルールです。 だから、まず ^{びょういん}病院 か ^いクリニックに 行ってください。 そのとき、ドクターにくすりを ^み見せて「^{じぶん}自分の国で ^くいつも このくすりを ^{つか}使っていました」と ^い言ってください。 ドクターはあなたの ^{からだ}体を ^みみて ^{かん}がえます。 そして くすりを ^か買うための ^{かみ}紙を ^か書いてくれます。その紙が ^{かみ}処方せんです。 ^{しょほう}その処方せんを ^も持って ^きここに ^き来てください。 そうすれば、^う売ることが ^かできます。</p>
<p>それとは強さが異なりますが、同じようなお薬でよろしければ、 こちらが似たような効果のお薬になります。</p>	<p>そのくすりと ^{おな}同じでは ^ありませんが、これなら ^う売ることが ^かできます。 そのくすりと ^{おな}だいたい ^{おな}同じです。でも、^{すこ}少し ^よわいです。</p>